College of Agriculture, Ibaraki University

茨城大学農学部2020

生 産　研究開発　流 通

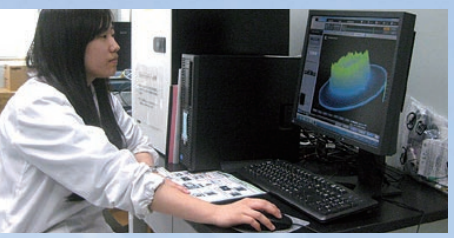
茨城大学農学部
College of Agriculture, Ibaraki University

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

ISSEI 街と暮らしを考える。
一誠商事株式会社
阿見支店

茨城大学周辺のお部屋探し、おまかせ下さい。

スマホでらくらく!
お部屋探しは
コチラから!



茨城大学農学部

College of Agriculture, Ibaraki University

2020

地域から世界の「食と農」に貢献する

生　産 ・ 研究開発 ・ 流　通 のプロになる

茨城大学農学部は新しく生まれ変わりました

地域から世界の「食と農」に貢献する生産・研究開発・流通のプロを育てます

みなさん、こんにちは。

茨城大学農学部は「食生命科学科（定員 80 名）：国際食産業科学コース／バイオサイエンスコース」及び「地域総合農学科（定員 80 名）：農業科学コース／地域共生コース」のカリキュラムの下で教育・研究を行っています。みなさんは、講義・演習・実験・実習等を通じて現在の農学に関わる基礎及び専門知識を学び、農学分野の抱えている問題･課題を知り、卒業論文の執筆を通じてそれらのより良い解決法を探求していきます。茨城大学農学部の新カリキュラムは皆さんが学修した知識・経験・成果に基づいて、社会に出てからもそれぞれの分野で学び続けながら活躍できる人材を育成できるように設計されています。

農学が対象とする研究分野は地球規模で広がり続け、新たな課題が生まれ続けています。その潮流の中で、皆さんが新たに発見する課題もあることでしょう。現在、日本を含め世界中で、安全・安心な食の実現、持続可能な農業を担う人材が求められています。豊かな農業の成長は、地域の活性化にも大切です。茨城大学農学部は、自然科学や社会科学を通じて、生産・研究開発・加工・流通などそれぞれの知識や技術を学び、国内はもとより国際的に活躍できる「食と農」のプロフェッショナルを育成します。

また、教育・研究をより高度に推進するために附属施設等を着々と整備しています。具体的には、2018 年度に附属農場が「国際フィールド農学センター」へと改組されました。また、2019 年度には食品衛生管理の国際規格 HACCP の教育や、企業との共同研究が可能な実験室・研究室・講義室等を備えた新研究棟「フードイノベーション棟」が完成しました。さらに、遺伝資源の有効活用を見据えて遺伝子実験施設等の改組も計画されています。これらの施設と従来の教育研究施設が一体となって、阿見キャンパスはますます充実した教育研究環境となっていきます。

農学部教職員一同は、新しい農学部の主役となって活躍してくれる皆さんのご入学をお待ちしています。

農学部長　戸嶋　浩明

Hiroaki Toshima

茨城大学農学部が目指す教育

課題解決能力	地域の自治体や企業、農家の方々と連携した講義や実習を通じて、地域とグローバル社会の抱える課題を理解し、それらを解決に導くために必要な考え方や分析力等を身につける。
実践的英語能力	初年次からの英語の学修に加え、農学や食品分野で必要な専門用語等に関する英語力と、専門職業人としてグローバルに活躍するために必要な英語力を、専門科目を通じて学ぶ。
地域理解と国際理解	地域や海外をフィールドにした体験型実習や講義により社会の多様性を理解し、複雑な現代社会の課題を解決するための協調性、コミュニケーション能力等の汎用的能力を身につける。

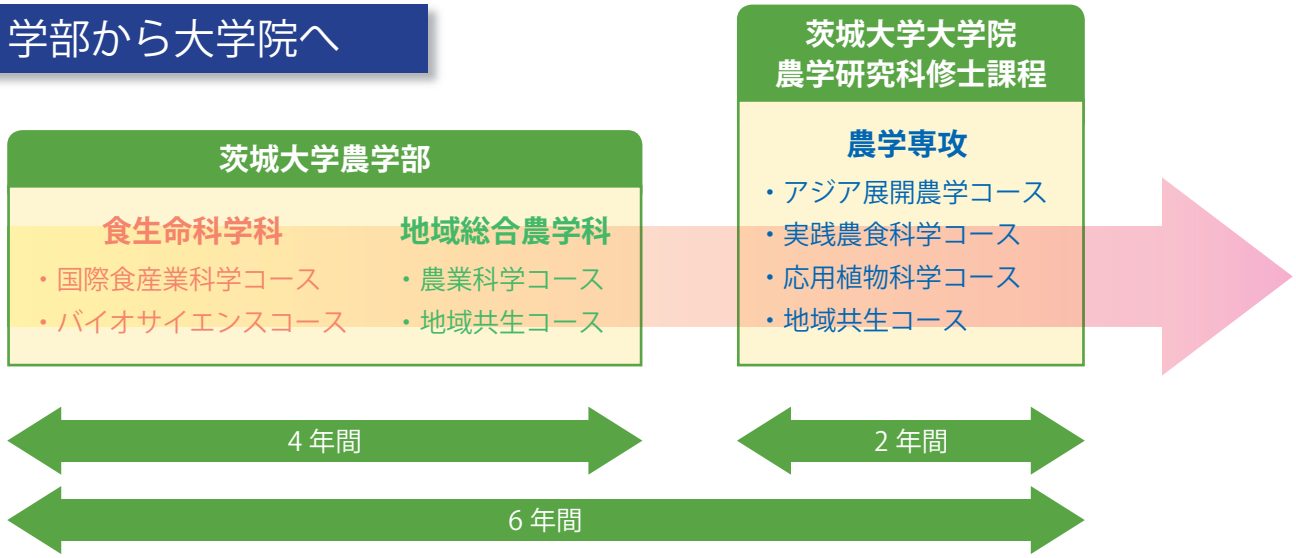
農学部ではこのような学生を求めています

茨城大学農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

①（知識・技能）農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
②（知的関心）農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
③（思考力・判断力・表現力）これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身につける意欲を有していること
④（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

学部から大学院へ



大学院農学研究科では 4 つのコースを設け、学部教育を発展させた**高度な教育と研究**を行っています。

農産品の安全・安心、国際化を担う

食生命科学科

生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識・技能を修得し、生物機能の高度利用や安全な食料・食品の生産、供給を通じて様々な食料問題を解決するための能力や食品分野で国際的に活躍できる思考力を身につけます。

食生命科学科ではこのような学生を求めています

生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。

したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

学科の特色

- 生物、化学系科目を重点的に学びます。
  例）生化学、分析化学、有機化学、分子生物学
- 卒業後の進路選択につながる実験技術を修得します。
  例）生物学実験、化学実験、機器分析実験

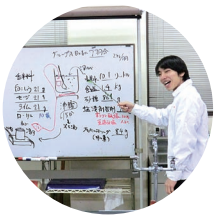
学科における教育方針

- 生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識・技能を修得し、生物機能の高度利用や安全な食料・食品の生産、供給を通じて様々な食料問題を解決するための能力や食品分野で国際的に活躍できる思考力を身につけた農学系専門人材を育成します。
- 生物の機能や生物資源の利用法について理解するために、動物、植物、微生物についての基本的な生命現象、およびそれらの分子レベルから個体レベルまでの相互作用に関する基盤的な講義科目と発展的な専門講義科目、および実験科目を体系的に学修します。
- 食品の加工・流通の分野で国際的に活躍できる人材を育成するため、食品科学に関する知識・技術について、基盤的な講義科目と発展的な専門講義科目、および実験科目を体系的に学修します。

国際食産業科学コース

英語での授業と海外留学を通じて、食品安全の専門家として海外で活躍できる力を身につけます。

コースの特色



- 英語力をより強化します
  （卒業時 TOEIC 700点以上を目標）。
- 半年間の海外留学を行います。

コースにおける教育方針

- 食品の加工、流通、安全性について、自然科学だけではなく社会科学も含めた講義科目と実験・実習科目を通して体系的に学修します。
- 国際的に活躍できる人材を養成するため、実践的な英語教育、英語による専門講義科目、海外の大学での講義の履修を行います。
- 卒業論文研究では、生命現象の解明や生物機能の利用を目指した研究を行うことを通して、論理的思考力、独創力やプレゼンテーション能力を総合的に修得します。

卒業後の予想進路

食品の製造・加工などに関わる企業
食品の防疫・流通に関わる企業等
大学院修士課程進学

取得可能な資格

HACCP 管理者（食品の輸出入）〔受験資格〕
食品衛生管理者〔任用資格〕
高校教員（理科、農業）

バイオサイエンスコース

生命科学に関する専門科目と実験の履修によりバイオ産業で活躍できる知識と技術を身につけます。

コースの特色

- 各生物種（動物、植物、微生物）を深く学びます。
- 先端的実験技術を修得します。

コースにおける教育方針

- 生命現象の理解と生物機能の高度利用のために必要な知識と技術の修得を目指し、基礎的な生物学と化学、動物・植物・微生物やそれらの相互作用に関する専門科目と実験科目を体系的に学修します。
- 卒業論文研究では、生命現象の解明や生物機能の利用を目指した研究を行うことを通して、論理的思考力、独創力やプレゼンテーション能力を総合的に修得します。

卒業後の予想進路

食品の製造・品質管理・開発などに関わる企業等
化学・医薬品などの製造・開発・品質管理等に関わる企業
大学院修士課程進学

取得可能な資格

HACCP 管理者（食品の輸出入）〔受験資格〕
食品衛生管理者〔任用資格〕
高校教員（理科、農業）

美味しくて健康に良い食品の開発を目指して

白岩雅和 教授

▶設問 1　先生の研究について教えてくれませんか？

私たちが毎日食べている食品には「栄養機能」「感覚機能」「生体調節機能」という 3 つの機能があります。これらの機能のうちどれを最重要視するかは、時と場合によって異なりますが、この 3 つの機能がすべて高い食品があれば理想的です。そこで私達の研究室では、栄養価が高く、将来の人口増加に伴う食糧難に対処できる重要な食料資源といわれる「大豆」と糖尿病緩和作用を有するイヌリンを多量に含むことで有名な「菊芋」に注目し、それらに含まれる美味しさにかかわる成分や私たちの体に好影響を及ぼす成分を見つけ出し、その化学構造や作用メカニズムの解明を行っています。さらにそれらの成分の組成や含量を人為的にコントロールし、美味しくて健康に良い食品を開発することによって、食を通じて生活習慣病の予防に貢献することを目指しています。

▶設問 2　先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

私は小・中学校・高校の生活を通して学んだ様々な経験（勉学、スポーツ、生徒会活動など）から大学選択の時期には教員になりたいと思っていました。一方で、小さい頃から健康やスポーツに大変関心があり、これらには「食」が密接に関係していることを実感していたことから、大学で専門的に「食」について学んでみたいとも考えていました。そこで、大学では農学部の食糧化学科に進学し､「食」を学びながら教員を目指しました。その中で高校までの学びとは異なる「未知なるものを解明する研究」の面白さに心を惹かれていきました。教員採用試験を受けようとしていた修士課程 2 年目の時に教授から「教員は小・中学校・高校だけじゃないよ、大学もあるよ」と言われたのをきっかけに「研究を通した教育が実践できる大学教員」を目指そうと思いました。

▶設問 3　先生にとって茨城大学農学部って？

小さい頃からずっとなりたいと思っていた「教育職」と大学及び大学院の研究生活を通して是非従事してみたいと思った「研究職」という 2 つの夢を同時に実現させてくれた場所です。研究において新しい発見があった時に学生とともに喜び、研究がうまくいかない時に学生とともに本気で議論しあうことを繰り返しながら 1 年が過ぎていきます。「研究」と「教育」を同時に成し遂げることは大変なことですが、「学ぼうとする意欲のある学生」と常に一緒に活動できること、そして、学生が卒業していく際に「茨城大学農学部でよかったです」と言ってくれる時、なにものにも代えがたい幸せを感じます。このような研究を通した教育によって、社会におけるそれぞれの持ち場持ち場でリーダー的存在として自信を持って活躍できる学生を輩出していきたいと思っています。

マウスを使って「こころ」と「栄養」の関係を科学する

豊田 淳 教授

▶設問 1　先生の研究について教えてくれませんか？

現代社会にはいろいろなストレスがありますが、日本でも「こころ」の不調を訴える人が増えてきています。しかし、同じようなストレスにさらされても、平気な人と病気になってしまう人がいます。これはストレスへの耐性が人それぞれであることを意味しています。私たちの研究室では、「こころ」の強さはどこからうまれるのかに関心があり、マウスなどの実験動物を使って研究しています。研究には実験動物の行動観察から、タンパク質などの生体分子の解析まで、あらゆる実験技術を駆使しています。また、日々の生活習慣、特に食習慣で「こころ」の不調を予防できるようにするために、「こころ」を強くする農産物や食品を探しています。「こころ」の病を食習慣で予防できるような未来社会の創造に、少しでもお役に立ちたいと考えています。

▶設問 2　先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

小学生ですでに研究者、特に魚類学者になることを決めていたので、ある意味、早熟でした。小学生の頃の私は、魚を釣ったり、飼ったりすることが大好きでした。一日中、水槽の前に張り付いているので親は心配していましたが。中学生の頃はインド音楽などの民族音楽にはまって、短波放送から聞こえてくるシタールやタブラの音にしびれてました。なので、インドやアフリカにあこがれて、文化人類学者になりたいと思ったこともあります（今でも憧れます）。高校生と浪人生の頃に通っていた予備校の生物の先生が分子生物学を専攻された方で、分子生物学の魅力を叩きこまれて、やはり生物学、特に動物の行動と分子生物学の勉強をしたくなりました。もともと小さい頃に魚が好きになったのも、その行動が面白かったからです。

▶設問 3　先生にとって茨城大学農学部って？

私にとっては夢のような環境です（笑）。ずっと自分がやりたいテーマを自由に研究してきましたし、今でも自由にやっています。赴任した当時は、研究費獲得や研究環境に苦労したこともありましたが、周りの教職員の方々や学生さんに支えてもらいながら、かなり充実した研究室に成長させることが出来ました。博士号もコンスタントに出せるようになりました。また、ここの特長としては研究室の垣根が低いことでしょうか。異分野の先生と飲んだときにその場で盛り上がって共同研究がスタートしたりします。筑波研究学園都市の研究者ともたくさん共同研究をさせてもらっていますが、こんな優れた研究環境はめったにないのではないかと思います。学生さんにはこの優れた環境を十二分に活かしていただきたいと思います。

農業の活性化による地域づくりを担う

地域総合農学科

地域の食や農に関する生産から販売までの一貫した知識・技能、地域社会の抱える課題を包括的に把握し、創生・発展に繋がる思考力・行動力を養い、地域産業振興に貢献する力を総合的に身につけます。

農業科学コースではこのような学生を求めています

農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の農業技術の発展に貢献する人材に育成します。

したがって、生物学を中心とした「農学」の幅広い基礎学力・興味を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

地域共生コースではこのような学生を求めています

美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材に育成します。

したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローカル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

学科の特色

- 農業・環境科学系科目を基礎から学びます。
  例）栽培学、育種学、農業水利学
- 社会科学系科目を学び農業と社会とのつながりを意識させます。
  例）農業に係る経済学、流通学、計画学
- 地域と連携した講義、実習を行います。

学科における教育方針

- 食や農に関する生産から販売までの一貫した専門知識・技能と、茨城県を中心とする関東圏北部を題材に地域社会の抱える課題を正確に把握する力を修得し、地域産業振興や地域の発展に貢献できる思考力と行動力を身につけた農学系人材を育成します。
- 農業生産やその基盤となる土壌や水に関する専門知識、農業を取り巻く社会や経済に関する専門知識を講義、実験および実習を通して基礎から応用まで体系的に学修します。
- 教養科目の履修によって豊かな人間性と幅広い教養をもち、多様な文化と価値観を尊重する国際感覚を身につけた社会人として生きる力を養います。
- 卒業論文研究やゼミナールなどではより専門性の高い課題に取り組み、農業生産や農業に関連する環境や社会の問題とそれを解決するための方法について深く考え実践する能力を修得します。

農業科学コース

農作物や園芸作物などの生産技術や品種開発の専門知識に加え、農業経営等についても学修し、地域の農業生産を支える力を身につけます。

コースの特色

- 栽培や植物防疫について専門的に学びます。
- 実習を通じて農業技術を学びます。

コースにおける教育方針

- 農作物の生産と利用、品種改良、病害虫防除に関する専門的知識を学修します。
- 教養科目や農業を取り巻く社会と経済について学び、社会の一員として農業の発展に貢献できる見識を養います。
- 講義、実験および実習を通して、農業科学に関する知識や技術を基礎から応用まで体系的に学修します。
- 卒業論文研究やゼミナールなどではより専門性の高い課題に取り組み、農業生産に関連する問題とそれを解決するための方法について深く考え実践する能力を身につけます。

卒業後の予想進路

種苗、農薬などの製造・開発に関わる企業等
農業生産法人、農業団体
公務員（行政職、農業職）
大学院修士課程進学

取得可能な資格

高校教員（理科、農業）

地域共生コース

農地と水の利用に関する専門科目と実習に加え、地域の問題を社会科学的観点から考察することで豊かな地域づくりを支える力を身につけます。

コースの特色

- 農地と水の利用などに関する知識、技術を学びます。
- 社会調査などを通じ、地域課題の解決手法を学びます。

コースにおける教育方針

- 土壌や農地、水をはじめとする食料生産基盤に関する科目と、経済学や社会学などの農村社会の理解につながる科目との両軸を基礎に置き、地域環境保全に関して総合的に学びます。
- 農業生産基盤や地域環境に関する専門的な知識を学ぶことにより、生産性が高く環境との調和がとれた農業および地域発展、農業活動に起因した環境問題について、自らが考え解決方法を提案できる力を身につけます。
- 経済学、社会学、政策学など社会科学と、食料や環境などに関する自然科学の科目の学修を通じて、自然共生型社会の創出に向けた、基礎と応用、発展的理論などを学びます。

卒業後の予想進路

農業団体、農業土木やコンサルティングに関する企業等
農産品・食品の流通・販売などに関わる企業
公務員（行政職、農業土木職）
大学院修士課程進学

取得可能な資格

測量士補
高校教員（理科、農業）

進化なくして生態なし！生態なくして防除なし！

北嶋康樹 准教授

▶設問 1　先生の研究について教えてくれませんか？

「ハダニ類の生態と防除」と「食品工場に発生する害虫の防除システムの開発」について研究しています。

ハダニは植物に寄生するダニ（葉ダニ）で、一部のハダニは農業上重要な難防除害虫になっています。研究室では、害虫種のハダニだけでなく、非害虫種の生態も明らかにし、それらを比較することによって害虫種を防除するヒントを探しています。

食品工場で発生する様々な害虫類は、製品への異物混入の主要な原因のひとつです。研究室では、食品工場における害虫の発生源や侵入源を速やかに探知し、清掃や構造改善で害虫を防ぐことのできるシステムの開発に取り組んでいます。

▶設問 2　先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

私が「昆虫学者になる！」と決意したのは、小学校 5 年生の時だったと思います。小さい頃から昆虫が大好きだった私は、小学校高学年から本格的に昆虫採集を始め、昆虫の美しさや多様性に魅了されていきました。その一方で、昆虫採集を通じて絶滅危惧種の存在や自然保護の重要性なども学び「将来は昆虫学者になって、貴重な昆虫を守りたい！」と思ったのがきっかけです。その後、中学・高校と進学し、昆虫学者になるための道を具体的に考える段階になり、将来的に博士号を取得することを念頭に、まずは昆虫の勉強ができる大学（学部）への進学を決めました。大学では遊んでばかりの劣等生でしたが、大学院進学以降は研究に打ち込み、なんとか昆虫で飯を食えるようになりました。

▶設問 3　先生にとって大学教員とは？

子供のころから「昆虫学者」を目指していたとはいえ、大学に入学して具体的に進路を考えるにあたり、高校教員（生物の先生）も進路の一つとして頭に浮かんできました。自分自身、人に教えることに向いていると思ったこともその理由のひとつです。結果的に大学教員になって、教育と昆虫学者の両方を叶えることができ、少し信じられない思いもあります。この立場に負けないよう、これからも精進して行きたいと考えています。

コンピューターを使って将来の食料生産を予測せよ！

増冨祐司 准教授

▶設問 1　先生の研究について教えてくれませんか？

地球温暖化が食料生産に及ぼす影響を評価したり、その対策を検討したりする研究をしています。ここで重要なことは、地球温暖化が現在から遠い将来にわたって影響を及ぼすので、将来を適切に予測する必要があるということです。このために私は、コンピューターの中で作物の成長を再現する作物成長モデルというものを作成し、将来の気候下で作物の成長がどのようになるかを調べるという研究をしています。ですので、農学部に所属していますが、圃場に出る、試験管を握っている、ということはほとんどなく、一日中コンピューターと会話をしているという毎日を送っています。

▶設問 2　先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

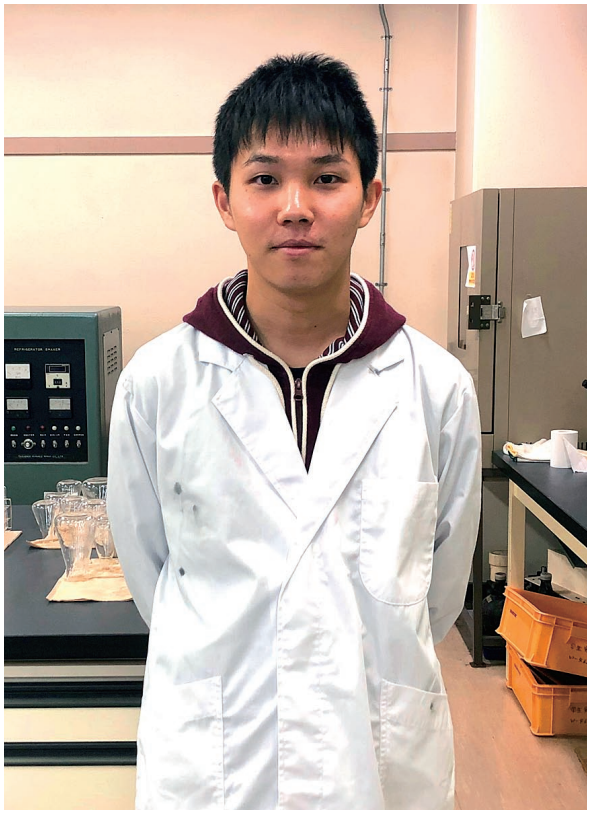
中学生のとき友達から「アインシュタインの相対性理論によればタイムマシンが可能である」という話を聞いて衝撃を受け、すごい！僕もそういう理論を作ることができる人（物理学者）になりたいと思ったのがきっかけです。とはいえ（受験）勉強が好きではなかったですし、勉強がものすごくできるわけではなかったので、一時（大学院博士課程 2 年の時）は研究者になるのを諦め、自分探しの旅にでようとしたり、ハンバーグ職人になろうとしたり、FM ラジオ局のナビゲーターになろうとしていました。その後いろいろあって今の職に就いておりますが、こうなったのはおそらく、対象は物理でも環境問題でもなんでもよく、「研究」という作業が心の底から好きな性分なんだなということかなと思います。

▶設問 3
先生にとって茨城大学農学部って？

実は奥さんの実家は農学部がある阿見町にあり、結婚する時に大学に隣接している阿見町役場に婚姻届を提出しに行ったのですが、そのときに役場の駐車場から牛が見えて、「あれ、なんであんなところに牛がいるんだ !!?」と奥さんに聞いたのを覚えています。それが僕と茨城大学農学部のファーストコンタクトです。その当時（2009 年）は、別のところに住んでいたので、茨城大学農学部の存在を知らなかったのですが、まさかそこの教員になるとは思ってもみませんでした。人生何があるかわかりませんね。

先輩からのメッセージ

①この学科・コースを志望した理由
②これからどのようなことを学んでいきたいか　③高校生に向けて一言



馬来航平（食生命科学科 3 年）

①生命科学に興味を持ったのは高校一年生のときです。学校で生物基礎の科目を勉強していて生き物の体のつくりや仕組みなど生物のあらゆる分野に興味を持ちました。そのとき特に腎臓の構造と仕組みに大変感動したことを覚えています。また自分は食べることや料理が好きだったので食に関わることを勉強したいとも思っていました。そこで食品や生命科学に関して広く学ぶことができる茨城大学農学部食生命科学科に進学しました。

②これからは研究室配属にむけて専門分野の基礎的な内容をしっかり学び、来たる卒業研究のための土台作りに邁進していきたいと思います。自分は動物科学系の分野に興味があるのでそれにかかわる科目を勉強するとともに、専門外の知識も貪欲に吸収して自分の視野を広げていきたいです。

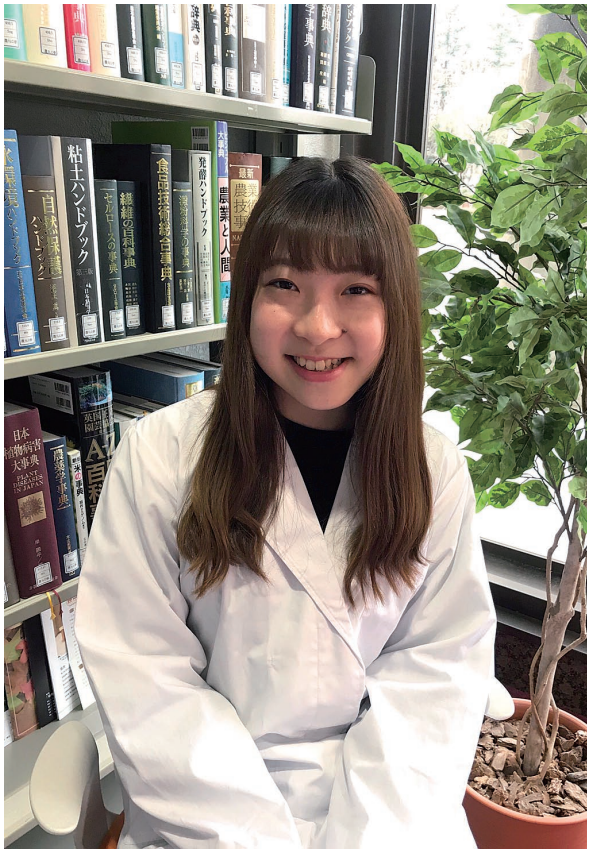
③農業、食品、そして生命科学について興味・関心のある人は是非とも茨城大学農学部に来てみてください。特にこの学科、コースは生命科学について幅広い知識を学ぶことができます。自分の興味のある分野について思う存分学習できる環境はとても貴重なものですよ。

菊地歩実（食生命科学科 3 年）

①私は中高生の時のキャリア教育を通して、食品関係の職業に興味を持ちました。将来、そのような仕事に就くには、食について学ぶことが必要だと考え、茨城大学農学部食生命科学科を志望しました。また、農学部に入り、農業について専門的なことを知ることで、海外の食や農業についても学びたいと思い、国際食産業科学コースを選択しました。

②座学で学んだ知識や実験で得た技術を活かして、食品に関する研究をしていきたいと思っています。また、指定の授業を受け、HACCP と食品衛生管理者の資格を得て、将来役に立てていきたいと考えています。海外留学では、東南アジアの農業の現状を自分の目で見て、日本の農業との差などを知りたいと思います。

③食生命科学科では、食品のことだけでなく、化学や生物についても深く学ぶことができます。また、二年次からは楽しい実験・実習を行います。なので、食に興味のある方はもちろん、化学や生物をより学びたい方も実験・実習をたくさんやりたい方も留学をしたい方も是非茨城大学農学部へ！



杉本　花（すぎもと　はな）（地域総合農学科 3 年）

①私が農業科学コースを志望した理由は農業の生産について色々な観点から学びたいと思ったからです。私が高校生のとき、将来の職業の選択肢の一つとして農家があり、農学部を志望していました。農業を職としたときに役立つ、実践的で幅広い知識を得たいと思った私にこのコースはぴったりでした。

②１～２年次は農作物・栽培・遺伝子・病害虫防除などの基本を中心に学んできました。これからも多くある農業の課題解決に向けて生産技術や、安定した経営について学んでいきたいです。農学部で学び始めてから、農業の喜びと大変さを知り、自分が農業に携わったときにできることは何かを考えるようになりました。これからも学びを深め、自分にできることの幅を広げていきたいと思っています。

③農業は身近なことから世界のことまで様々なことが関連しあっていて、知れば知るほど面白いです。私たちが生きていくために不可欠なだけでなく、ときには人を幸せにできる農業はこれからも必要です。そんな農業の色々な面を農業科学コースでは学ぶことができます。農業に興味のある方はぜひ進路の選択肢の一つとして考えてみて下さい。

武田　迅（たけだ　じん）（地域総合農学科 3 年）

①僕は、高校 3 年生の進路希望調査の時に将来は土木関係の勉強をしたいと思っていました。「土木であれば、工学部なのでは？」と思われた方も多いかと思われます。しかし、敢えて農学部の土木系を選んだのには理由があります。それは、農業と工学が融合するとお互いの良さが合わさりより良いものになるのでないだろうかという期待感と、ユーモアに惹かれました。また、関東にあることによるアクセスの良さです。

②一年次は水戸キャンパスにて、教養科目を学習します。農業の意義、農業に関する基礎を主に学習し、第二外国語も履修します。重要なこととしては、地域と農業との関わりについての基礎を学ぶことです。また様々な分野から農業を見ることができます。二年次より、「社会科学系、環境保全系、工学系」の三つに分けて行われます。僕が属しているのは工学系ですが、工学系は授業科目が多く、数学や物理要素を含むものもあるため他のコース友達からは「大変そうだね」と言われることも多くありますが、教授の方がやさしく教えてくださるので大丈夫だと思います。

③大学受験をしなければ、当然のことながら大学には入ることができません。しかし、そう悩まなくてもいいと思います。入学した誰もが通ってきた道ですし、あそこの大学に入ってこれを勉強したいという気持ちさえあれば、いくら不安になった時であっても自らを奮い立たせることができると思います。地域共生コースでは「社会科学系、環境保全系、工学系」の 3 つに分かれていて様々なことを学ぶことができます。大学生になったら、楽しいこともいっぱいあります。地域共生コースで学ぶことも選択肢の一つとして考えてみてください。

国際交流活動

短期派遣プログラム

▶アジアの大学との教育連携が充実し、短期研修の機会もたくさん用意されています。「**国際インターンシップ**」（1 単位）では、インドネシアのジェンデラル・スディルマン大学の学生とともに**農村滞在型社会貢献プログラム**を行います。現地学生と一体となって問題解決学習を進めることで、**コミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、協調性**を獲得できます。語学研修や異文化体験に留まらず、**国際舞台で活躍できる専門性**を獲得できます。

AIMS プログラム

▶茨城大学は、ASEAN 地域の国際連携教育プログラムである **AIMS プログラム**に加盟しており、農学部からも参加が可能です。3 年次後期に東南アジアの AIMS 加盟大学に留学して、専門科目を修得することができます。現地での留学生活を通して、優れた**国際通用性**と**異文化適応能力**を身に付けることができます。

派遣可能な大学（2018 年度）：【インドネシア】ボゴール農科大学（農学・食品科学系）、ガジャ・マダ大学（農学系）、スリウィジャヤ大学（農学系）、【タイ】カセサート大学（農学・理学系）、チェンマイ大学（理工学・人文社会科学系）、【ブルネイ】ブルネイ・ダルサラーム大学（理工学・人文社会科学系）

国際食産業科学海外講義

▶食生命科学科国際食産業科学コースでは、3 年次後期に「**国際食産業科学海外講義**」が設定されています。アジアの交流協定校に 1 学期間留学して、複数の専門科目を履修します。安全な食料・食品の生産、供給の国際スタンダードを学び、**食品分野で国際的に活躍できる人材**を目指しましょう！

派遣学生の声

平成 30 年度 AIMS 派遣学生　資源生物科学科　草谷奈津子さん

勉強、友好関係、旅行、全てにおいて充実した留学生活を送ることができました。これも、インドネシアトップクラスのガジャ・マダ大学と、観光地としても名高いジョグジャカルタという街との組み合わせのおかげだと思います。ガジャ・マダ大学では、講義やフィールドトリップで、熱帯地域の農業の実践方法を学び、現地の農家さんにも触れることができ、農学部学生としてとても興味深い体験ができました。講義に付随する実験も多く、大量のレポートに取り組むこととなりましたが、同じ AIMS 仲間や現地の友達に支えられ、乗り越えることができ、より絆も深まりました。

「楽しかった！」と、一言では片づけられないくらい勉強に追われる忙しい毎日でしたが、その分、誰よりも学び、空き時間を有効活用できたと思います。今後の自分の研究へのモチベーションもあがり、次につながる重要な留学になりました。

その他の情報はホームページで http://ddp.agr.ibaraki.ac.jp/

学生生活

学費（平成 31 年度入学者）

入学料 282,000 円
授業料 535,800 円（年額）

入学料・授業料免除制度

特別な理由によって入学料の納付が著しく困難な学生、または学業成績が優秀で経済的かつ特別な理由のため授業料の納付が著しく困難な学生には、選考の上、全額または半額が免除される制度があります。

奨学金制度

日本学生支援機構による奨学制度が主であり、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金の二種類があります。いずれも人物・学業ともに優れ、健康であって経済的理由により修学困難と認められたものに貸与されます。

第一種奨学金（無利子貸与）
自宅通学者　2 万円・3 万円・4 万 5 千円から選択
自宅外通学者　2 万円・3 万円・4 万円・5 万 1 千円から選択
第二種奨学金（有利子貸与）
2 万円～ 12 万円
1 万円単位で選択可能

アルバイト

学務グループの窓口にて、阿見町・土浦周辺の地域から寄せられた求人票の紹介を行っております。

保健室・なんでも相談室

保健室では健康診断やケガ、病気の応急処置を行っています。なんでも相談室では、学業・進路・日常生活におけるトラブルに関する相談や心身の健康相談を行っており、学生は気軽に利用することができます。

アパート・寮

大学周辺（徒歩 10 分以内）には数多くのアパートがあります。家賃は月額で約 4 万円前後です。

霞光寮

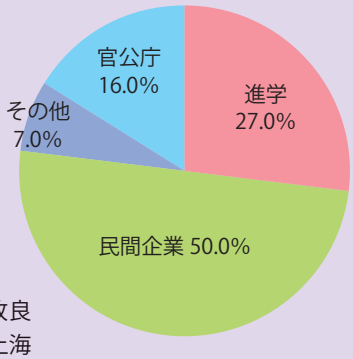
農学部敷地内に男性用（41 部屋）と女性用（41 部屋）があり、全室個室（ユニットバス・トイレ・ミニキッチン・ベッド・机・スチール棚付き）です。寮費月額 4,700 円！入寮者は選考により決定しています。

国際交流会館

外国人留学生用（20 部屋）と外国人研究者用（5 部屋）の宿泊室と談話室等を完備しています。

卒業後の主な進路

平成 31 年 3 月学部卒業者の進路



◆主な就職先

食　品　系：ウルノ商事㈱、㈱新保哲也アトリエ、コカ・コーラボトラーズジャパン㈱、㈱なとり、㈱ローズコーポレーション、㈱旭物産、サラヤ㈱、イセデリカ㈱

学術・開発・研究：農業・食品産業技術総合研究機構、国立環境研究所、㈱家畜改良センター、㈱環境再生保全機構、㈱船井総研ホールディングス上海支社、㈱アフレル、㈱ビジネスコンサルタント、㈱ネオアクシス

農業・複合サービス：全国農業協同組合連合会茨城県本部、全国農業協同組合連合会福島県本部、JA 北つくば、JA 夢みなみ、JA 全農ぐんま、農業法人深作農園㈲、ベルグアース㈱、㈱ジェイイーティーファーム、房総ファーム㈱、㈱エジソン、㈱マインドライズ、㈲森ファームサービス、実家農業、起業（レンコン農家）

公　務　員：農林水産省、茨城県庁、千葉県庁、埼玉県庁、福島県庁、山形県庁、宮崎県庁、警視庁、北茨城市役所、守谷市役所、八千代市役所、長野市役所、那覇市役所

教　　員：江戸崎総合高校

そ　の　他：㈱トライエス、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ㈱、㈱ボディセラピストエージェンシー、㈱饒田、㈱ワールドインテックファクトリー事業部、岡山証券㈱、㈱東栄社、㈱インヴァランス、㈱ジャパンビバレッジホールディングス、アイズテクノロジー㈱、㈱仙台進学プラザ、㈱坂東太郎、㈱スマイル、アニコム損害保険㈱、㈱キーエンス、三井化学アグロ㈱、㈱タイショー、㈱ピカソ美化学研究所、㈱いなげや、㈱トスコ、㈱東日本銀行、㈱ニチイケアパレス、（社）大泉町社会福祉協議会、茨城県信用組合

◆進学先

茨城大学大学院（29）、筑波大学大学院、京都大学大学院

阿見キャンパス内の施設

附属国際フィールド農学センター

茨城大学農学部附属国際フィールド農学センターは、これまでの大学農場の機能に加えて、グローバル化する農業について国際化と地域の両方の視点で社会との連携を深め、これらを通じた学内外のフィールド農学研究の拠点化を目指して 2018 年に設立されました。そして、近年、国立大学の附属農場自体の 2 例目として、GAP 認証を取得しました。農学は、農業、食料、生物資源、環境、地域・国際社会などの幅広い分野にまたがる学問ですが、それらの諸問題に対して「フィールド農学」という視点から総合的かつ実践的に対応できる人材育成を目指しています。農学実習を中心にセンター専任教員、協力教員の担当授業科目などがあります。

福利厚生施設（こぶし会館）

1 階には大学生協食堂・購買部、2 階には研修・会議室があります。食堂はカフェテリア形式でメニュー豊富です。書籍・文具・飲食物などを購買部にて販売しています。

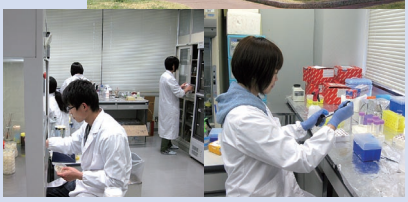
体育館

バドミントン用コート 4 面分の広さで、体育の授業やスポーツ系サークル等の活動に利用されています。

茨城大学遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は茨城大学における組換え DNA 実験をはじめとした生命科学研究の教育･研究支援と安全管理、そして、バイオテクノロジーの地域社会への啓発と研究成果の社会への還元を目的として、平成 13 年 4 月より学内共同利用を開始しました。研究機器･実験室を整備して、学内外に向け精力的に活動を展開しています。

開かれた大学、実験施設を目指し、無料の各種実験講座も多数開催していますので、皆さんの参加、アクセスをお待ちしております。



フードイノベーション棟

食の安全に関する国際標準「HACCP」教育と食の 6 次産業化の中核を担う教育研究の強化を目的に、平成 31 年に完成した施設です。関連分野の教員の研究室、講義室、実験室、ラーニングコモンズ等の機能を備えています。

図書館農学部分館

図書館農学部分館は、農学関係の図書や雑誌を所蔵する研究・学習のための図書館です。館内には個人で静かに勉強できるスペースと、話し合いながらのグループ学習に適したスペース「ラーニングコモンズ」があり、必要に応じて使い分けることができます。

授業期間中は土曜日・日曜日も開館しています。開館時間の詳細は図書館 Web サイト（http://www.lib.ibaraki.ac.jp/）の開館カレンダーをご覧ください。

図書館 Web サイトでは、Web 上で利用できる図書や雑誌、蔵書検索なども提供しています。図書館の資料は一般市民の方も利用することができます。

サークル紹介

鍬耕祭実行委員会

鍬耕祭実行委員会は、毎年秋に茨城大学阿見キャンパスで開催される鍬耕祭（しゅうこうさい）という学園祭の企画・運営を行っています。模擬店やステージ企画はもちろんですが、魅力は何といっても野菜販売や芋ほり体験、乗馬体験といった農学部ならではの企画です。昨年度は豪華景品をかけて素晴らしい戦いが繰り広げられたオリジナルなゲーム大会「AMICON（アミコン）」やスタンプラリーなどの特別企画、その他様々なステージ企画で盛り上がり、無事鍬耕祭を成功させることができました。鍬耕祭は決して規模の大きいものではありませんが、地域との交流が深く、アットホームな雰囲気の漂う、茨城大学農学部でなければできない学園祭となっています。

また、鍬耕祭実行委員会では阿見キャンパス内で行われるイベントの企画も行っており、今年度もスポーツ大会を開催する予定です（農学部の皆様、奮ってご参加ください）。大変なこともありますが、その分やりがいは大きいです。少しでも興味のある方はぜひ鍬耕祭実行委員会に入って、一緒に農学部を盛り上げませんか？

馬術部

私たち馬術部は、現在 2 頭の馬とともに飼育や競技練習などの活動を行っています。

この部活の最も注目すべき点は自分たちで馬の管理をすることです。毎日のエサやりはもちろんのことで衛生管理から運動管理、飼育における金銭・書類管理など様々なことを自分たちが責任を持って行います。こうした活動は大変なことも多いですが、仲間とともに協力して行うことで、生き物を中心とした連帯感を強め、協調性を養うことができます。

社会では馬に乗ることになんとなく敷居の高さを感じがちですが、現在の馬術部はほとんどが大学 2 年生から始めた初心者です。乗馬用具も共用のため、ほとんど何も買わずに気軽に始められます。馬の乗り方やお世話の仕方は先輩が親切に教えるので心配ありません。初めて馬で走り回れたときは、まるで空を飛ぶような感動を味わえます！

「皆さんも大学で馬と触れ合いませんか？」馬術部はいつでも部員を待っています‼

学生農業サークルうら谷津

私たち学生農業サークルうら谷津は、阿見町上長地区にある耕作放棄地の再生を目的として、2004 年に発足しました。度重なる活動を通してうら谷津の田んぼは徐々にその機能を取り戻し、今では毎年お米づくりを行えるまでになりました。

私たちの活動は米づくりが中心ですが、そのほとんどは機械を使わず人の手で行います。一見大変だと思われるかもしれませんが、実際にやってみるとだんだんと楽しくなってきます。時間に縛られず、厳格なルールもなく、友達と談笑しながら作業をする…。このような緩い環境で農作業を体験できることは、かなり貴重なのではないかと思います。

毎回の活動の後には、現地の豊かな自然の中で食事を行います。うら谷津で作ったお米や味噌を使ってみんなで適当（笑）に料理をし、食べるご飯や味噌汁は格別です。

興味を持たれた方は、ぜひ一度いらしてみてください。食と農、そして自然の素晴らしさを再認識することができると思います。

のらボーイ & のらガール

のらボーイ & のらガール〜食農教育プロジェクト〜、略してのらのらです！

基本的に土曜の午前中に活動をしています。そのため、他のサークルに加入したり、バイトと両立したりすることもできます！

活動内容としてはまずは農作業です。今は、二つの畑を借りて夏野菜やサツマイモ、他にもいろんな作物を育てています。次に、イベント開催があります。小学生向けに農業体験やそば打ち体験などのイベントを開いています。これだけではありません！私たちは、外部の団体とも協力して活動を行っています。商品開発をしたり、全国の農業サークルと交流を持ち、月一回の交流会を開いたりしています。サークル内の仲間と沖縄や金沢などに旅行に行ったり、運動会や遠足をしたりすることもあり、とても楽しい時間を過ごしています！

・楽しく農作業がしたい人！　　・子供が好きな人！
・イベントの運営がしてみたい人！　　・全国の大学生と仲良くなりたい人！

におすすめです！やれることはたくさんありますので、気軽に連絡、活動に参加してください！待っています‼

農学部登録のサークル　▶農業系：うら谷津／のらボーイ & のらガール食農教育プロジェクト／楽農人／あみゆめカフェ／食育支援サークル FES　▶運動系：卓球部／ラクロス部阿見支部／バスケットボール同好会／弓道部／馬術部／をごたんぴー／バレーサークル／ STC（ソフトテニスサークル）／ ABC ／漕艇部／ SWACH　▶文化系：鍬耕祭実行委員会／美術部／ものづくりノ会【匠】阿見支部／ Let's Hang Out ／漫画研究会阿見支部／阿見 A.C.E ／生物研究会阿見支部　▶音楽系：Gitarre!! ／中南米音楽研究会／侍 SoundFactory ／ JAZZ 研究会／茨城大学混声合唱団阿見支部／茨城大学吹奏楽団／ Moccabone（モカボーン）　H30 年度現在

茨城大学農学部 College of Agriculture, Ibaraki University × ISSEI 街と暮らしを考える。一誠商事株式会社

一誠商事キャラクター、イッセー君とショーコちゃんが茨城大学 阿見キャンパスと一誠商事㈱ 阿見支店を案内するよ！

茨城大学 キャンパス所在地

阿見キャンパス

土浦駅（西口）バスターミナル1番乗り場から関東鉄道バス「阿見中央公民館行」に乗車、「茨大前」下車（バス乗車時間は約20分）。

常磐線土浦駅まで約6km、つくばエクスプレス線つくば駅まで約13kmと近い。

阿見キャンパス（農学部）配置図

●学務グループ及び保健管理センター阿見分室（保健室）は、**事務管理棟**にあります。

●生協食堂、書籍部、購買部は**福利厚生施設（こぶし会館）**にあります。

駐輪場（自動二輪車等も併用）

茨城大学 阿見キャンパス
〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1
TEL：029-887-1261㈹

一誠商事㈱ 阿見支店
〒300-0337 茨城県稲敷郡阿見町中郷2-23-9
TEL：029-840-2510